

日本臨床細胞学会奈良県支部第1回理事会 議事録

日時：平成26年7月14日（月）午後4時

場所：奈良県医師会館 2階会議室

出席者：小西、安達、浦、太田、大林、川口、河野、鴻池、笹平、島田、高野、豊田、西川

欠席者：今井、榎木、小畑、金山、木枕、小林、武田、中井、中村、古川、松山、森田、山川、
中村、井谷、清塚

はじめに

理事会は7月10日（木）開催予定であったが、台風8号近畿接近のため、本日に変更となった。

1. 会務報告

理事会は平成25年7月4日（第1回）、同年10月17日（第2回）の2度開催された。（資料1参照）
第28回学術集会が、今井俊介世話人のもと「乳腺疾患の細胞診」をテーマとして開催された。
教育講演は大阪大学、南雲サチ子先生、特別講演は北福島医療センター、君島伊造先生、一般演
題は6題であった。また、第8回ワークショップが奈良医大で開催され、「尿細胞診」をテーマ
として、講演を和歌山県立医科大学、村田晋一先生に、細胞診症例実習を奈良市総合医療検査セ
ンター、安達博成理事が担当した。

第9回ワークショップは、平成27年1月24日（土）に開催予定で、実習担当は奈良医大病院
病理部、テーマは「乳腺細胞診」である。今後、講演を担当する演者を決めることになる。

2. 決算報告

平成25年度決算報告および平成26年度予算案が提案された。（資料2,3参照）

会計担当の中村幸子理事欠席により、小西支部長より詳細が報告され、出席理事から異議なく、
承認が得られた。

3. 平成26年度総会・学術集会について

平成26年12月6日（土）、奈良県医師会館で開催予定で、世話人は小畑孝四郎理事であったが、
病氣療養中のため、近畿大学奈良病院、若狭朋子先生に代理世話人をお願いすることとなった。
太田善夫理事より、若狭先生の略歴と、すでに教育講演を愛媛県立医療大学・則松良明先生に、
特別講演を鈴鹿中央市民病院・矢納研二先生に内定している旨が報告され、出席理事の承認が得
られた。講演タイトル等は、次回理事会までに決定され、一般演題の募集も開始する。

4. 第40回日本臨床細胞学会近畿連合会学術集会について

平成26年10月5日開催予定の第40回近畿連合会学術集会は、奈良県支部が担当し、小西支部

長が学会長としてこれを執り行う。(資料4参照)

学術集会の内容がほぼ確定し、講演演者や座長についても実行委員会で選定の上、決定している。プログラム・抄録冊子がほぼ完成し、ホームページも5月下旬に立ち上げられ、スライドカンファレンス投票も可能な状態である。(近畿連合会会員には開催の案内とスライドカンファレンス事前投票の募集に関するはがきを郵送している)

学会運営に関する予算については、奈良県医師会および日本臨床細胞学会近畿連合会からの賛助金に加え、企業からの協賛金もあり、運営可能である。学会を成功裏に終わらせるため、各理事、支部会員のご協力をお願いしたい。

5. その他

(1) 奈良県支部役員の退任・新任について

退任は井上芳樹理事(近畿大学医学部奈良病院産婦人科教授退官)、榎本泰典理事(東邦大学へ異動)の2名、新任は若狭朋子先生(近畿大学医学部奈良病院臨床検査部、准教授)と内山智子先生(奈良医大病理診断学、助教)の2名で出席理事の承認が得られた。

(若狭先生)平成3年に大阪大学医学部を卒業後、大阪市立大学、和歌山県立医科大学(講師)、大阪赤十字病院勤務を経て、平成25年に近畿大学医学部奈良病院臨床検査部、准教授に就任。

(太田善夫理事より報告)

(内山先生)三重大学医学部卒業後、鈴鹿中央病院にて病理診断の研修を受け、平成25年、日本病理学会病理専門医ならびに日本臨床細胞学会細胞診専門医の資格を取得。(大林千穂理事より報告)

(2) 支部会員へのアンケート調査報告

平成25年に開催された第2回理事会にて「奈良県支部独自の活動、法人化」について議論されたが、以降、理事あるいは会員から具体的な提案はない。

日本臨床細胞学会の公益社団法人化に伴う支部活動について、昨年度の総会でアンケート調査が行われた。有効回答数は会員の半数程度で、結果は別紙「アンケート集計」に記載されており、日本臨床細胞学会が公益社団法人になったことを承知している会員は多いものの、各支部との関わりがどのように変わるのかについては、ほとんどの会員が知らない状況であることが分かった。支部名称については、現行の「日本臨床細胞学会奈良県支部」を継続するとの意見が多く、この名称を使用することで出席理事の賛同が得られた。ただし、日本臨床細胞学会奈良県支部においては、「奈良県臨床細胞学会」という名称も併用していることが確認された。

(3) 事務報告について

- ・奈良県支部会報の編集委員について今井俊介理事から豊田進司理事に交代する。
- ・近畿連合会評議員について井上芳樹理事から太田善夫理事に交代する。技師評議員は検査士学会長の中村幸子理事とする。

・近畿連合会から名誉会員、功労会員の推戴があったが、奈良県支部においては該当者なしと報告した。

・日本臨床細胞学会から「子宮頸がん検診推進活動支援」についての問い合わせがあった。安達理事より、引き続き奈良県細胞診検査士会が中心となって活動するとの報告があった。これを受けて、日本臨床細胞学会に対し、費用支援（50,000円）を申請することとなった。

(4) 理事からの質問

・安達理事より第40回日本臨床細胞学会近畿連合会学術集会における作業分担に関して、具体的な内容を知りたい旨の質問があった。

→支部長より担当する人員とその配置案は策定しており、9月8日実行委員会にて諮る予定である。

・豊田理事より平成27年12月開催の学術集会の、世話人についての質問があった。

→審議の結果、奈良医大病理診断学、高野将人理事とすることで出席理事の承認が得られた。テーマや演者選定など詳細は次回理事会にて提案される。

・大林理事より細胞診研修認定施設の申請が思いのほか少ない。今後の研修指導も考慮し、積極的に施設登録の手続きを進めていく方がよいとの意見があった。

→支部長より、認定施設が存在が周知徹底されていない可能性があり、せっかく研修しても認定施設でないことを理由に専門医受験資格を得られないという不幸な事態を避けるためにも、研修を担う施設はできる限り速やかに申請手続きを行うよう依頼があった。

なお、奈良医大や奈良県立病院機構奈良県総合医療センター（旧奈良県立奈良病院）等は認定施設である。

平成26年7月15日

文責 小西 登